



平成29年度 大阪しあわせネットワーク 事業報告書

1. 平成29年度の概要

大阪府社会福祉協議会ならびに社会福祉施設経営者部会・各施設種別部会では、昨今の社会経済情勢の変化等により顕在化してきた“制度の狭間”の課題への対応や、改めて問われている社会福祉法人のあり方をめぐる議論に“社会福祉法人の使命”として応えるため、これまで大阪で取り組まれてきた実践をさらに発展し、社会福祉法人の強みを活かしたさまざまな地域貢献事業を推進する「大阪しあわせネットワーク（オール大阪の社会福祉法人による社会貢献事業）」として、平成27年度から新たな一歩を踏み出した。

平成28年度は、「大阪しあわせネットワーク」としてオール大阪で地域貢献事業を推進する2年目に入り、様々な施設種別で取り組まれはじめた「生活困窮者レスキュー事業」の実践事例紹介や、それぞれの社会福祉法人で取り組まれている地域貢献実践を「大阪しあわせネットワーク支援システム」などで情報集約を行い、社会福祉法人による地域貢献実践の「見える化」をはかるなど、具体的な地域貢献実践をより一層推進するため、下記の事業を展開した。

2. 各事業の実績

(1) 生活困窮者レスキュー事業

失業、介護、障がい、虐待やDVなどにより、今日・明日食べるものがない、電気・ガスが止まってしまった…など制度の狭間の生活困窮に陥った方など、様々な“生活SOS”に対応する総合生活相談事業「生活困窮者レスキュー事業」について、様々な施設種別のコミュニティソーシャルワーカーによる支援を展開している。

平成28年度の相談支援件数は、新規相談2,577件、継続相談1,275件、合計3,852件（社会貢献支援員が支援に関わった事例のみ）で、相談支援事例のうち、「経済的援助（現物給付）」による支援を行ったものは、670世帯45,411,393円（再支援ケース33世帯954,613円を含む）であった。

①相談支援件数 ※下記件数は社会貢献支援員の関わった事例のみの集計

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規	198	224	201	251	229	267	204	203	188	197	198	217	2,577
継続	115	116	125	111	114	111	101	88	104	91	104	95	1,275
計	313	340	326	362	343	378	305	291	292	288	302	312	3,852

②「経済的援助（現物給付）」を行った支援件数と金額

月	件数（件）	金額（円）	月	件数（件）	金額（円）
4	75	4,956,629	10	37	2,496,122
5	43	3,047,823	11	52	3,271,040
6	54	3,133,319	12	56	3,587,677
7	49	3,557,277	1	60	4,487,976
8	51	3,489,565	2	51	3,489,157
9	58	4,408,325	3	84	5,486,483
				670	45,411,393

※上記の件数・金額には、再支援ケース 33 世帯 954,613 円を含む

※10 万円を超える支援を行った件数は 26 件である。

※施設からの残額返金が 308 件 8,467,691 円、対象者からの返還が 24 件 557,942 円があり、決算における経済的援助金額はこれらを差し引いた 36,385,760 円となる。

③「経済的援助（現物給付）」を行った相談支援事例の特徴と傾向

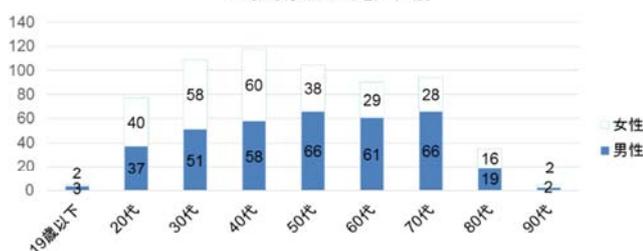
「経済的援助（現物給付）」による支援を行った世帯の主な対象者の年齢は、40 歳代、30 歳代、50 歳代の順に多く、平成 26～28 年度の 3 年間の支援実績を比較すると、50～70 歳代の対象者がやや増加傾向にある。

また、世帯の特徴については、「失業・未就労 (232 件)」、「高齢（介護等）、傷病 (192 件)」を要因とするものが多く、平成 26～28 年度を通じて年々増加傾向にある。

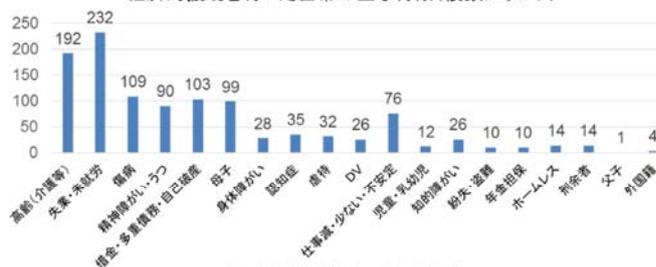
支援内容については、「食材費・光熱水費・住居関係費・日用品費」など、生命・生活にかかわる経済的援助（現物給付）による支援が多い。

相談の紹介経路については、行政、市区町村社協、生活困窮者自立相談支援機関の順に多かった。

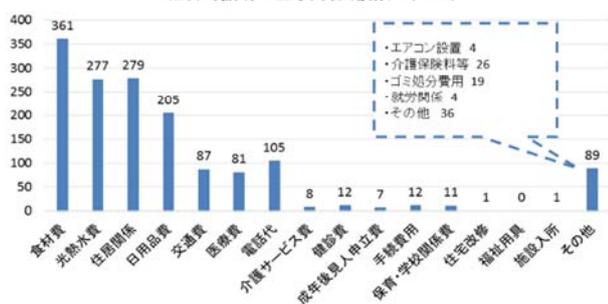
主な対象者の年齢・性別



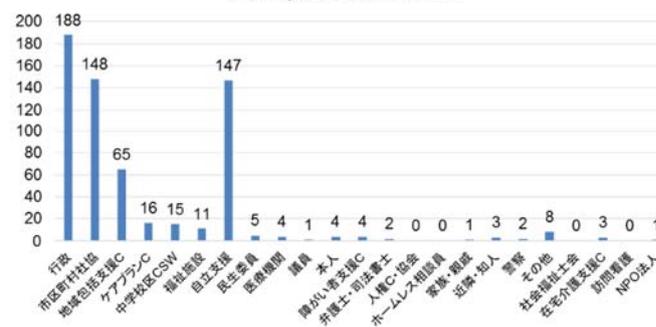
経済的援助を行った世帯の主な特徴（複数カウント）



経済的援助の主な内容（複数カウント）



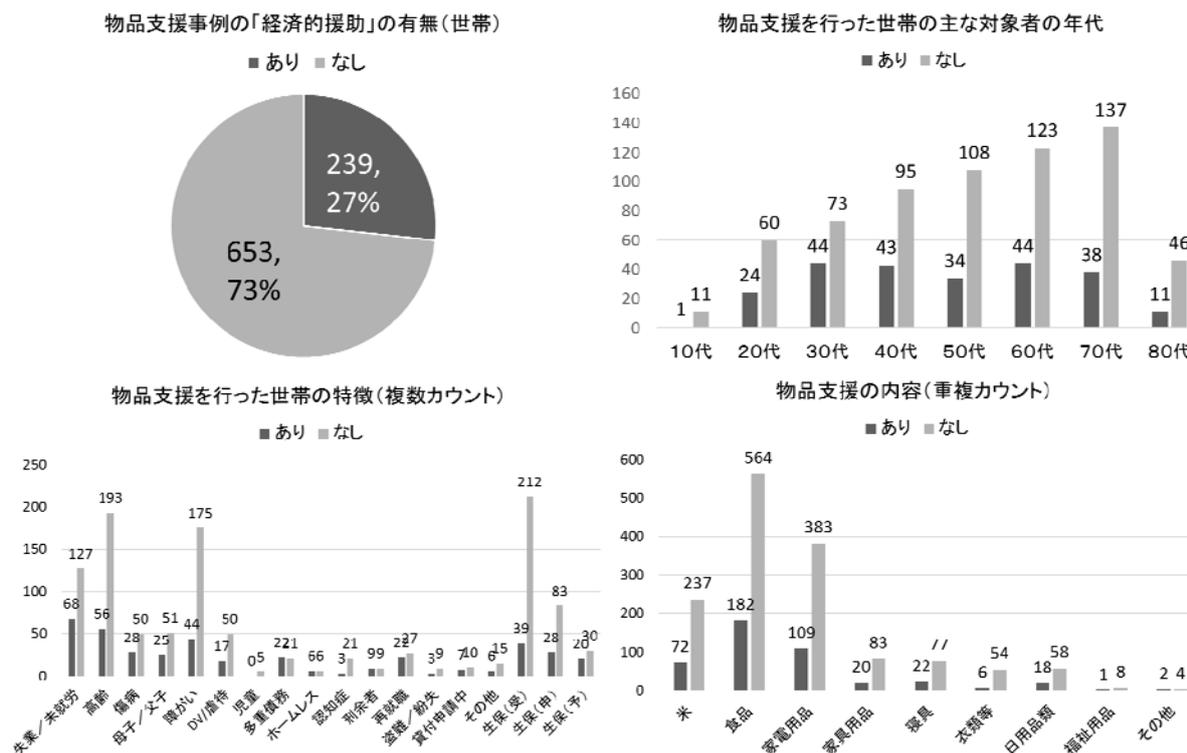
経済的援助事例の紹介経路



④寄贈物品・寄贈食材等による支援を行った相談支援事例の特徴と傾向

社会貢献基金を活用した「経済的援助（現物給付）」による支援だけでなく、地域住民や企業、関係団体等から寄付・提供をいただいたリユース可能な家電や家具、日用品、食品（米、レトルト食品や缶詰、麺類など）も緊急的な支援が必要な場合に活用している。

28年度は、寄贈物品・寄贈食材等による支援を、892世帯（1,332人）に行った。支援を行った世帯のうち、経済的援助（現物給付）による支援もあわせて行ったものは27%（239世帯396人）、経済的援助（現物給付）による支援を行わず、寄贈物品・寄贈食材等による支援のみを行ったものは73%（653世帯936人）であった。



(2) 社会福祉法人の強みを活かしたさまざまな地域貢献事業の推進

社会参加、居場所づくり、就労支援などをはじめ、各社会福祉法人（施設）で取り組まれている、それぞれの特徴や強みを活かしたさまざまな地域貢献事業を推進するとともに“見える化”をはかり、広く情報を発信している。情報発信として、本会機関誌「福祉おおさか」に「頑張っています！社会福祉法人の地域貢献」と題した連載記事を掲載しているほか、平成29年3月に「マッセ・市民セミナー」の枠組みを活用し、「社会福祉法人による地域貢献事業実践報告会」を開催し、一般住民をはじめ、行政、福祉関係者、NPOなどに幅広く、社会福祉法人による地域貢献実践についての情報発信をした。

①福祉おおさか連載記事「頑張っています！社会福祉法人の地域貢献」

No.	発行月	内容
1	29.5	地域のニーズを受け止めるコミュニティソーシャルワーカー 福)和光福祉会 熊取療育園 (熊取町/成人施設部会)

No.	発行月	内容
2	29.7	地域のつながりづくりの拠点～豊寿荘あいあい食堂～ 福)大阪府社会福祉事業団 豊寿荘(豊中市/老人施設部会)
3	29.9	
4	29.11	
5	30.1	
6	30.3	

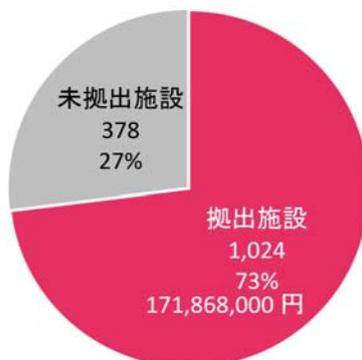
②マッセ・市民セミナー「社会福祉法人による地域貢献事業実践報告会」

No.	日付	会場	人数	内容
1	29. 3. 14	マイドーム 大阪	167	<p><講演> 「社会福祉法人（福祉施設）と地域の協働実践」 大阪教育大学教育学部教養学科人間科学講座 准教授 新崎 国広氏</p> <p><実践報告> ① すべての人の“働きたい”を支える 障がい者就労支援施設の取組み 社会福祉法人 ひまわり園（羽曳野市） 施設長 新開 英夫氏</p> <p>② オール大阪で連携！ 福祉施設の強みを活かした生活困窮者支援 ～保育園と特別養護老人ホームが連携した母子世帯支援～ 社会福祉法人 雅福社会 うちこし保育園（門真市） 園長・スマイルサポーター 三見 雅恵氏 社会福祉法人 晋栄福社会 ナーシングホーム智鳥（門真市） コミュニティソーシャルワーカー 藤井 由佳氏</p> <p>③ 地域・福祉施設・社協が協働する“地域貢献委員会” の取組み～子どもの“孤食の予防”と“居場所づくり” の実践～ 社会福祉法人 愛和会（豊中市） 事務部長 豊中市社会福祉施設連絡会 会長 向井 均氏 社会福祉法人 豊中市社会福祉協議会 福祉推進室 室長 勝部 麗子氏</p> <p><コメンテーター> 大阪教育大学教育学部教養学科人間科学講座 准教授 新崎 国広氏</p>

(3)「社会貢献基金（特別部会費）」の拠出

「大阪しあわせネットワーク」を推進するため、本会施設種別部会の会員施設（社会福祉法人が運営する施設のみ）が拠出する「社会貢献基金（特別部会費）」については、1,024施設73%（社会福祉法人が運営する会員施設1,402施設中）から171,868,000円の拠出があ

った。



3. 委員会

(1) 経営者部会社会貢献事業推進委員会

「大阪しあわせネットワーク（オール大阪の社会福祉法人による社会貢献事業）」の推進にあたり、各施設種別部会から選出された委員が参画し、事業全般に関する企画・運営、各施設種別部会間の調整、意見交換を行った。

No.	日付	会場	人数	内容
1	28. 7. 14	大阪社会福祉指導センター	12	平成 28 年度年間事業計画およびスケジュール 大阪しあわせネットワーク各事業の推進 保育園・スマイルサポーターとの連携事例報告 大阪しあわせネットワーク支援システム活用促進 各部会における取り組み、意見交換
2	28. 10. 28	薬業年金会館	11	平成 28 年度年間事業の進捗状況について 大阪しあわせネットワーク各事業の推進状況 大阪しあわせネットワーク支援システム活用促進 平成 29 年度社会貢献支援員の公募について 各部会における取り組み、意見交換
3	29. 1. 20	大阪社会福祉指導センター	13	平成 28 年度事業の進捗状況について 平成 29 年度事業計画および予算案について 平成 29 年度社会貢献支援員公募、配置について 大阪しあわせネットワーク支援システムについて 各部会における取り組み、意見交換

(2) 社会貢献基金運営委員会

「大阪しあわせネットワーク（オール大阪の社会福祉法人による社会貢献事業）」の事業全般に関する審議、「社会貢献基金」の適正な管理のため、学識経験者、民間団体、各施設種別部会から選出された委員、行政オブザーバーにより構成する委員会で審議を行った。

No.	日付	会場	人数	内容
1	28. 8. 3	大阪社会福祉指導センター	16	平成 28 年度事業の進捗状況について サービス区分の統合について（28 年度補正予算） 社会貢献基金の活用状況について 意見交換

No.	日付	会場	人数	内容
2	29. 1. 31	大阪社会福祉指導センター	17	平成 28 年度事業の進捗状況について 平成 29 年度事業計画および予算案について 社会貢献基金の活用状況について 意見交換

4. 社会貢献支援員の配置

(1) 社会貢献支援員の配置状況

No	担当地域	氏名	駐在先（法人名/施設・事業所）
1	豊中市・池田市・箕面市	上杉 憲司	(福) 大阪府社会福祉事業団 特別養護老人ホーム豊寿荘
2	吹田市・能勢町・豊能町・茨木市	梅原 早苗	(福) 藍野福祉会 特別養護老人ホーム青藍荘
3	高槻市・島本町・摂津市	市山 大樹	(福) みどりヶ丘会 グリーン特別養護老人ホーム
4	枚方市・交野市	大東 幸雄	(福) 聖徳園 特別養護老人ホームひらかた聖徳園
5	寝屋川市・門真市・守口市	辰巳 正秀	(福) 百丈山合掌会 特別養護老人ホーム合掌荘
6	四條畷市・大東市	隅田 昌宏	(福) 大阪府社会福祉事業団 特別養護老人ホーム四條畷荘
7	東大阪市	湯村 丈司	(福) 由寿会 特別養護老人ホームアバンテ稲田
8	東大阪市	堀井 義元	(福) 川福会 特別養護老人ホームみのわの里
9	八尾市・柏原市・松原市・藤井寺市	下永田 智子	(福) 聖徳会 まつばらケアプラザセンター
10	羽曳野市・富田林市・大阪狭山市・河内長野市・太子町・河南町・千早赤阪村	宮本 茂美	(福) 長生会 特別養護老人ホーム美野の里
11	大阪市（東淀川区・淀川区・西淀川区・北区・福島区・此花区）	西川 満	(福) 井高野福祉会 東淀川区北部地域包括支援センター 「なかよし」
12	大阪市（中央区・天王寺区・西区・港区・大正区・浪速区・西成区）	川崎 博之	(福) みなと寮 救護施設 第2港晴寮
13	大阪市（東成区・生野区）	野津 達人	(福) 久栄会 特別養護老人ホームインパリスみのり苑
14	大阪市（鶴見区・城東区・都島区・旭区）	松本 保彦	(福) 治栄会 特別養護老人ホーム からまつ苑

No	担当地域	氏名	駐在先（法人名/施設・事業所）
15	大阪市（平野区・東住吉区・住吉区・住之江区）	朝川 三紀子	（福） 央福祉会 特別養護老人ホームウェルネスあびこ
16	大阪市（東住吉区・阿倍野区）	三井 環	（福） みおつくし福祉会 母子生活支援施設 南さくら園
17	堺市（中区・東区・南区・美原区）	井田 堤子	（福） いずみ会 特別養護老人ホームおおみの
18	堺市（北区・堺区・西区）	島原 三枝	（福） 関西福祉会 特別養護老人ホーム陵東館
19	泉州（高石市・和泉市）	横山 みどり	（福） 芳春会 地域密着型介護老人福祉施設びわろ和泉
20	泉州（泉大津市・忠岡町）	築田 祐希	（福） 豊中福祉会 特別養護老人ホームローズガーデン条南苑
21	泉州（岸和田市・貝塚市・熊取町）	岸上 由美子	（福） 大恵会 特別養護老人ホームいなば荘
22	泉州（泉佐野市・泉南市・阪南市・田尻町・岬町）	栗坂 英子	（福） せんわ 特別養護老人ホームせんわ
23	大阪府内全域	上村 英	本部（府社協社会貢献推進室）

（２）社会貢献支援員全体会議

No.	日付	会場	内容
1	28. 4. 1	大阪社会福祉指導センター	エリア会議・情報共有 28年度事業計画と方針について
2	28. 5. 13	大阪社会福祉指導センター	エリア会議・情報共有 説明会（大阪しあわせネットワーク支援システム）
3	28. 6. 2	大阪社会福祉指導センター	エリア会議・情報共有 社会貢献支援員活動報告
4	28. 7. 1	大阪社会福祉指導センター	エリア会議・情報共有 社会貢献支援員活動報告
5	28. 8. 4	大阪社会福祉指導センター	エリア会議・情報共有 社会貢献支援員活動報告 研修会（生活保護制度について）
6	28. 9. 2	大阪社会福祉指導センター	エリア会議・情報共有 研修会（相談員のためのメンタルヘルス講習） 生活困窮者レスキュー事業検証調査説明会
7	28. 10. 7	大阪社会福祉指導センター	エリア会議・情報共有 研修会（刑余者支援と保護司活動） 社会貢献支援員活動報告
8	28. 11. 2	大阪府社会福祉会館	エリア会議・情報共有 社会貢献支援員活動報告

No.	日付	会場	内容
9	28.12.2	大阪社会福祉 指導センター	エリア会議・情報共有 社会貢献支援員活動報告
10	29.1.6	大阪社会福祉 指導センター	エリア会議・情報共有 交通安全講習（事故は語る～ドラレコ映像から学ぶ危険～）
11	29.2.3	大阪社会福祉 指導センター	エリア会議・情報共有 生活困窮者レスキュー事業調査研究報告会
12	29.3.2	大阪社会福祉 指導センター	エリア会議・情報共有

（３）社会貢献支援員に対する教育・研修

①本会主催研修や行政・関係機関等が開催する研修会等への参加

社会貢献支援員のスキルアップをはかるため、本会主催研修や行政・関係機関等が開催する研修会・セミナー等に積極的に参加し、教育・研修の機会とした。

②新任社会貢献支援員フォローアップ研修会

No.	日付	会場	内容
1	28.5.23	大阪社会福祉 指導センター	現在の活動状況報告、課題共有 課題解決に向けた意見交換・情報交換
2	28.6.24	大阪社会福祉 指導センター	現在の活動状況報告、課題共有 課題解決に向けた意見交換・情報交換
3	28.7.12	大阪社会福祉 指導センター	現在の活動状況報告、課題共有 課題解決に向けた意見交換・情報交換
4	28.9.7	大阪社会福祉 指導センター	現在の活動状況報告、課題共有 課題解決に向けた意見交換・情報交換
5	28.10.19	大阪府社会福 祉会館	現在の活動状況報告、課題共有 課題解決に向けた意見交換・情報交換
6	28.12.15	大阪府社会福 祉会館	現在の活動状況報告、課題共有 課題解決に向けた意見交換・情報交換
7	29.1.17	大阪社会福祉 指導センター	現在の活動状況報告、課題共有 課題解決に向けた意見交換・情報交換
8	29.2.20	大阪府社会福 祉会館	現在の活動状況報告、課題共有 課題解決に向けた意見交換・情報交換
9	29.3.15	大阪府社会福 祉会館	現在の活動状況報告、課題共有 課題解決に向けた意見交換・情報交換

5. 研修会・セミナーについて

（１）コミュニティソーシャルワーカー養成研修会（前期）

No.	日付	会場	人数	内容
1	28. 5. 18	天満研修センター	112	① 今なぜ社会福祉法人に 地域貢献が求められているのか 大阪府社会福祉協議会 経営者部会 社会貢献事業推進委員会 委員長 菊池 繁信 ② 大阪府社協・各施設種別部会がすすめる 「大阪しあわせネットワーク」について 大阪府社協 社会貢献推進室 ③ 「生活困窮者レスキュー事業」の仕組みと 基本的な相談支援活動のすすめ方 大阪府社協 社会貢献推進室 ④ 相談支援において忘れてはいけない 尊厳と倫理、人権の視点 大阪府人権協会 人権支援部 澤井 登志 氏 ⑤ 「大阪しあわせネットワーク支援システム」の 役割と活用方法 大阪府社協 社会貢献推進室
2	28. 5. 27			① 生活を包括的に支える援助の視点の理解 ② 相談援助に必要なコミュニケーション技法 ③ コミュニティソーシャルワークの展開 大分大学教育福祉科学部 大学院福祉社会科学研究科 教授 衣笠 一茂 氏
3	28. 6. 4			① 地域の要援護者支援と地域福祉 大阪府社会福祉協議会 地域福祉部 ② 生活保護・医療等の社会保障制度 医療ソーシャルワーカー 奥村 晴彦 氏

(2) コミュニティソーシャルワーカー養成研修会（後期）

No.	日付	会場	人数	内容
1	28. 10. 3	天満研修センター	90	① 今なぜ社会福祉法人に 地域貢献が求められているのか 大阪府社会福祉協議会 経営者部会 社会貢献事業推進委員会 委員長 菊池 繁信 ② 大阪府社協・各施設種別部会がすすめる 「大阪しあわせネットワーク」について 大阪府社協 社会貢献推進室 ③ 「生活困窮者レスキュー事業」の仕組みと 基本的な相談支援活動のすすめ方 大阪府社協 社会貢献推進室 ④ 相談支援において忘れてはいけない 尊厳と倫理、人権の視点

No.	日付	会場	人数	内容
				大阪府人権協会 人権支援部 澤井 登志 氏 ⑤ 「大阪しあわせネットワーク支援システム」の 役割と活用方法 大阪府社協 社会貢献推進室
2	28. 10. 14			① 生活を包括的に支える援助の視点の理解 ② 相談援助に必要なコミュニケーション技法 ③ コミュニティソーシャルワークの展開 大分大学教育福祉科学部 大学院福祉社会科学研究科 教授 衣笠 一茂 氏
3	28. 11. 12			① 地域の要援護者支援と地域福祉 大阪府社会福祉協議会 地域福祉部 ② 生活保護・医療等の社会保障制度 医療ソーシャルワーカー 奥村 晴彦 氏

【参考】コミュニティソーシャルワーカー養成研修会修了者数（平成 16～28 年度）

合計 1,804 人

(3) CSWマイスター研修会 ※大阪府知事認定研修会

No.	日付	会場	人数	内容
1	28. 11. 14	天満研修センター	13	① コミュニティソーシャルワークについて 公益財団法人テクノエイド協会 理事長 大橋 謙策 氏 ② 大阪府の施策・制度等について ③ 生活困窮者支援に関する 社会資源・制度について 神戸女子大学 健康福祉学部 教授 松崎 喜良
2	28. 12. 10			① コミュニティソーシャルワーク援助技術演習 医療ソーシャルワーカー 奥村 晴彦 氏 ② コミュニティソーシャルワークにおける事例検討 大分大学 教育福祉科学部 大学院福祉社会科学研究科 教授 衣笠 一茂 氏 <事例報告者> (福) 秀幸福社会 庄栄エルダーセンター 神野享士氏

【参考】CSWマイスター研修会 修了者数（平成 25～28 年度） 合計 154 人

(4) コミュニティソーシャルワーカー研修会

No.	日付	会場	人数	内容
1	28. 12. 3	大阪社会福祉指導センター	41	<p>① 報告「中高年の失業・生活困窮事例分析報告」 神戸学院大学総合リハビリテーション学部 社会リハビリテーション学科 教授 西垣 千春 氏 <報告者> 神戸学院大学経済学部経済学科 准教授 田宮 遊子 氏</p> <p>② 中高年の失業・生活困窮を支援した事例報告 <報告者> 福) 気づき福祉会 摂津いやし園 中津川 旭 氏 福) 大阪府社会福祉協議会 社会貢献支援員 岸上 由美子 <スーパーバイザー> 神戸学院大学総合リハビリテーション学部 社会リハビリテーション学科 教授 西垣 千春 氏</p>
2	29. 2. 3	薬業年金会館	45	<p>① 報告「子どものいる世帯の生活困窮」 同志社大学大学院 田中弘美氏</p> <p>② 報告「中高年者の生活困窮」 神戸学院大学 教授 西垣千春氏</p> <p>③ 報告「高齢者の生活困窮要因に対する分析」 お茶の水女子大学大学院 遠藤希和子氏</p> <p>④ 報告「生活困窮者レスキュー事業経済的援助の利用者と生活保護受給との関係」 神戸学院大学 田宮 遊子氏</p> <p>⑤ 報告「栄養学の視点からみる生活困窮」 管理栄養士 大畑 仁美氏</p> <p>⑥ まとめ・質疑応答 神戸学院大学 教授 西垣千春氏</p>

(5) 相談援助技術研修会（事例検討会）

No.	日付	会場	人数	内容
1	28. 8. 24	千里朝日 阪急ビル	57	『就労支援から直接雇用へ』 神戸女子大学健康福祉学部 社会福祉学科 教授 松崎 喜良 氏 <報告者> 福) のぞみ 特別養護老人ホーム古江台ホール (老人施設部会/池田市) コミュニティソーシャルワーカー 赤木 祐介 氏
2	28. 8. 31	LIC はびきの	59	『失業により生活困窮に陥った家族への支援』 城南女子短期大学人間福祉学科 学科長 前田 崇博 氏 <報告者> 福) 聖徳園 障がい者支援施設ワークメイト聖徳 園 I (セルフ部会/河内長野市) コミュニティソーシャルワーカー 島田 茂樹 氏
3	28. 9. 6	テクスピア 大阪	39	『借金問題を抱える生活困窮世帯への支援』 花園大学社会福祉学部社会福祉学科 教授 川島ゆり子 氏 <報告者> 福) ほっこり福祉会障がい者支援施設ほっこの 里 (セルフ部会/貝塚市) コミュニティソーシャルワーカー 金丸鉄矢 氏 木下晋治 氏
4	28. 9. 29	高槻市 生涯学習 センター	34	『障がいのある独居高齢者への支援』 梅花女子大学こども学科 教授 井元 真澄 氏 <報告者> 福) 大阪福祉事業財養護老人ホーム 槻ノ木荘 (老 人施設部会/高槻市) コミュニティソーシャルワーカー 上杉 徳明 氏
5	28. 10. 18	堺市産業振 興センター	36	『妻は精神障がい夫認知症の高齢夫婦への支援』 神戸学院大学総合リハビリテーション学部 社会リハビリテーション学科 教授 西垣 千春 氏 <報告者> 福) おおとり福祉会特別養護老人ホーム朗友館 (老人施設部会/堺市西区) コミュニティソーシャルワーカー 小西 康子 氏
6	28. 10. 29	天満研修 センター	17	『内縁の夫との離別により生活が困窮した母子への支援』 医療ソーシャルワーカー 奥村 晴彦 氏 <報告者> 福) みおつくし福祉会母子生活支援施設 東さくら園 (母子施設部会/大阪市東成区) コミュニティソーシャルワーカー 滝澤 智子 氏

No.	日付	会場	人数	内容
7	28. 11. 21	天満研修センター	33	『未婚で出産し、生活困窮状況にある母子への支援』 福井県立大学看護福祉学部社会福祉学科 教授 奥西 栄介 氏 ＜報告者＞ 福) 寿栄会 特別養護老人ホームレーベンズポルト (老人施設部会/東大阪市) コミュニティソーシャルワーカー 川端 正浩 氏 福) 東大阪市社会福祉協議会 いきいきネットコミュニティソーシャルワーカー 林 良子 氏
8	29. 2. 24	松下IMPビル	52	『娘2人の修学旅行費が支払えない母子家庭への支援』 大分大学教育福祉科学部 大学院福祉社会科学研 究科 教授 衣笠 一茂 氏 ＜報告者＞ 福) 晋栄福祉会 特別養護用心ホーム ナーシングホーム智鳥 (老人施設部会/門真市) コミュニティソーシャルワーカー 藤井 由佳 氏 福) 雅福祉会うちこし保育園 (保育部会/門真市) 園長・スマイルサポーター 三見 雅恵 氏

(6) マッセ・市民セミナー「社会福祉法人による地域貢献事業実践報告会」 ※再掲

No.	日付	会場	人数	内容
1	29. 3. 14	マイドーム大阪	167	＜講演＞ 「社会福祉法人（福祉施設）と地域の協働実践」 大阪教育大学教育学部教養学科人間科学講座 准教授 新崎 国広 氏 ＜実践報告＞ ① すべての人の“働きたい”を支える 障がい者就労支援施設の取組み 社会福祉法人 ひまわり園（羽曳野市） 施設長 新開 英夫 氏 ② オール大阪で連携！福祉施設の強みを活かした生活 困窮者支援～保育園と特別養護老人ホームが連携し た母子世帯支援～ 社会福祉法人 雅福祉会 うちこし保育園（門真市） 園長・スマイルサポーター 三見 雅恵 氏 社会福祉法人 晋栄福祉会 ナーシングホーム智鳥（門真市） コミュニティソーシャルワーカー 藤井 由佳 氏 ③地域・福祉施設・社協が協働する“地域貢献委員会”の取 組～子どもの“孤食の予防”と“居場所づくり”の実践～ 社会福祉法人 愛和会（豊中市） 事務部長 豊中市社会福祉施設連絡会 会長 向井 均 氏

No.	日付	会場	人数	内容
				社会福祉法人 豊中市社会福祉協議会 福祉推進室 室長 勝部 麗子 氏 <コメンテーター> 大阪教育大学教育学部教養学科人間科学講座 准教授 新崎 国広 氏

6. 大阪しあわせネットワークの推進にかかる各種取り組み

(1) 「大阪しあわせネットワーク支援システム」の開発・運用

事業に参画する社会福祉法人（福祉施設）間における情報共有や、相談支援実績や様々な地域貢献実践を集約し、社会福祉法人の取り組みの“見える化”をはかるため、「大阪しあわせネットワーク支援システム」を運用している。

平成 28 年度からは、各社会福祉法人（福祉施設）のコミュニティソーシャルワーカー・スマイルサポーターの登録や、地域貢献実践を登録できる「地域貢献支援機能」の運用を開始した。

①大阪しあわせネットワーク支援システム URL



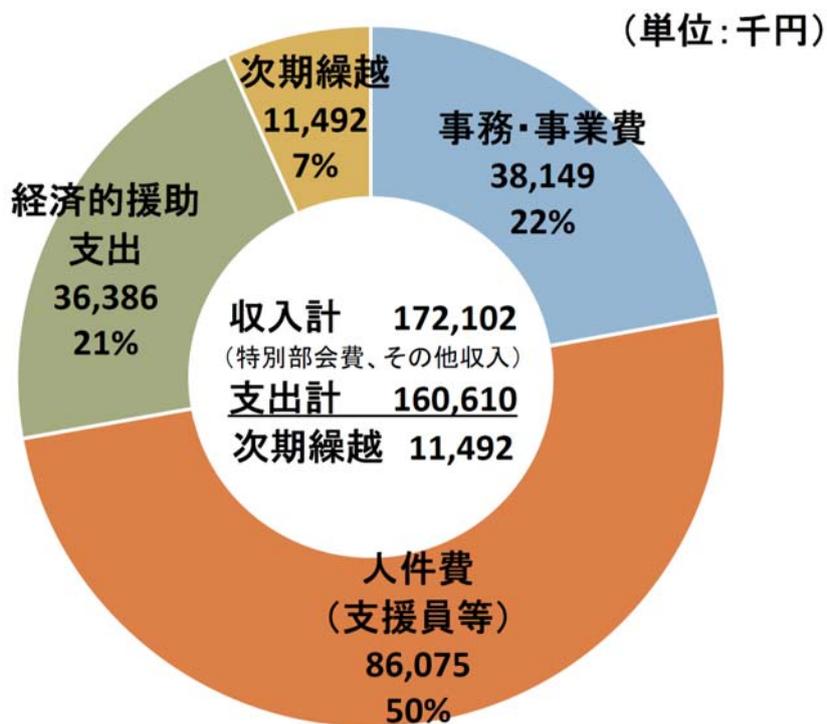
<https://osaka-soudan.jp/ssss/user/login/>

②大阪しあわせネットワーク支援システムの活用状況（29.3/31 時点）

- コミュニティソーシャルワーカー・スマイルサポーター登録 … 653 施設 1,564 人
- 地域貢献事業登録 … 256 施設 528 事業

11. 平成28年度決算概要 ※平成29年5月10日時点の見込みに基づくもの

平成28年度における大阪しあわせネットワークにかかる財務については、大阪府社会福祉協議会にて処理を行い、平成29年6月28日開催予定の大阪府社会福祉協議会定時評議員会において議決を行う予定であるが、平成29年5月10日時点における決算見込みに基づく、決算概要については下記のとおりである。



※平成28年度当初の社会貢献基金額は355,473千円であり、上記の次期繰越11,492千円を加えた366,965千円が平成28年度末時点における社会貢献基金額となる。

※経済的援助支出については、総支援件数670世帯45,411千円から、施設からの残額返金308件8,468千円、対象者からの返還金24件558千円を差し引いた36,366千円となる。

～ 本件に関するお問い合わせ ～
 社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会
 施設福祉部 社会貢献推進室
 電話 (06) 6762-9488 FAX (06) 6762-9472